

(1) 保存地区の概要

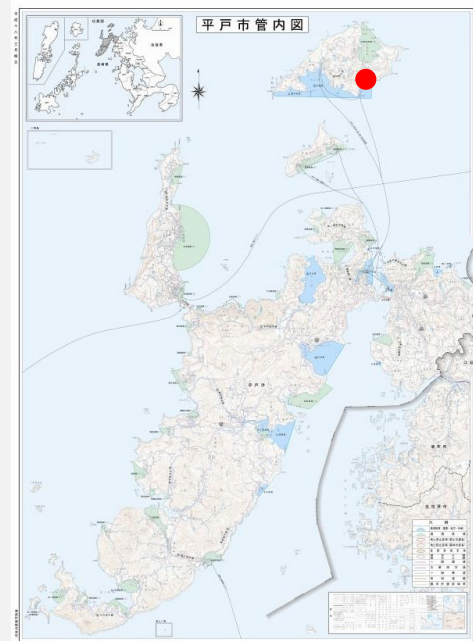
地 区 名	平戸市大島村神浦
種 別	港町
面 積	約21.2ヘクタール
選定年月日	平成20年6月9日

特 徴

平戸市大島村神浦伝統的建造物群保存地区は、江戸前期の捕鯨業を契機とし、捕鯨廃業後も水産加工業や船問屋・旅館・大工・製造業などの商工業を基盤として発展した「離島の港町」である。湾沿いにゆるやかに屈曲した通りに江戸中期から昭和初期の町家が連続して建ち並び、高台の寺社や山や海と一帯をなし、歴史的風致を形成している。



塩吹出之図



(2) 保存地区のあゆみ

平成16年度(2004)	町並み保存勉強会発足 長崎県「まちづくり景観資産」登録
平成17年度(2005) (～18年度)	伝統的建造物群保存地区保存対策調査
平成19年度(2007)	「平戸市伝統的建造物群保存地区保存条例」制定
平成20年度(2008)	『重要伝統的建造物群保存地区』選定 重要伝統的建造物群保存地区選定記念シンポジウム開催 修理・修景事業開始
平成21年度(2009)	「平戸市大島村神浦伝統的建造物群保存地区防災計画」策定
平成25年度(2013)	「平戸市大島村神浦伝統的建造物群保存地区交流拠点施設」オープン

平成30年度(2018) 重伝建選定10周年記念誌刊行

大島浦神浦伝建地区

近世以来の姿をとどめている集落。
そのため、基本的には2階部分は居住空間ではなく収納空間となっている。



(3) 保存地区の保存と整備

- ・ 選定後17年間で伝統的建造物45棟の修理
- ・ 歴史的町並み景観の復活
- ・ 災害時の避難誘導板の設置
- ・ 街なみ環境整備事業により公衆トイレや待合所等の整備



避難誘導板



街なみ環境整備
(公衆トイレ)

(4) 保存地区の活用とまちづくり

- ・ 修理事件を活用した伝建コンサートの開催
- ・ 小学生の郷土学習
- ・ 杉の木が少ない特性を活かした「スギ花粉避粉地体験セラピーツアー」の開催
- ・ 大学連携事業の取り組み



伝建コンサート



小学生の郷土学習



スギ花粉避粉地体験セラピーツアー



大学連携事業
「島の美術館」



(5) 住民等の取り組み

- ・ 町並み保存会による伝建地区見学者案内や除草作業、町並みかわら版の発刊
- ・ 花粉避粉地体験セラピーツアーの開催
- ・ 伝建作事組による台風等自然災害時の見回り、老朽家屋の応急修繕

【伝建見学者、花粉避粉地体験セラピーツアー参加者の声】

- ・ 歴史的町並みを大切にしたいと努力されていることをひしひしと快く思いました。
- ・ 静かな落ち着いた町並み、素朴なたたずまいが印象的
- ・ 想像していたより島が大きくて驚きでした。町並みは昔の日本が残っていて大変懐かしく感じました。
- ・ とにかく静か、高台から町並みがよくわかり、歴史的にとってもおもしろい島だと勉強になりました。
- ・ 花粉症の人にとっては治まるだけでも嬉しかったと思いますが、それ以上に島の町並みや自然、お食事、おもてなしも魅力的だということがよくわかりました。

